

公益社団法人の「社会奉仕活動」(新定款)に照準あて

月刊

さわやか

第40号

平成22年8月15日

《発行》

(社)日野市シルバー

人材センター

日野市日野本町2-4-7

0421581-8171

全地域班が一斉清掃を実施

各地公園、駅前周辺、主要街路、浅川堤防で

7月18日(日)、梅雨明けの本格的夏到来といった快晴のもとで、恒例の全地域班一斉清掃が実施されました。今回は、公益社団法人に移行するための新定款を承認して最初の「センターあがての「社会奉仕活動」です。全33班の取り組みのうち、主として未紹介の班を対象に、ブロック別に数班ずつ紹介していきます。

百草台班

百草台班は午前9時、七生緑小学校の真正面にその名称どおり三角形に突き出た小高い公園、三角点公園に集合。周辺の団地の清掃日と重なり、刈払機のエンジン音が鳴り響いていました。



百草台班

菅原班長から、参加者は2手に分かれて歩道のゴミを拾いながら、湯沢福祉センターまでの道のりを進んで欲しいとの説明がありました。40年前に建てられた百草団地は、自然公園の緑豊かな場所。参加者たちは歩道の生け垣の中にあるゴミ

ミを見つけ拾い集めながら、坂道を進みました。

Dブロック4班

豊田駅南口にDブロック4班(豊田 東豊田 東平山 西平山)の会員45名が四方に別れて清掃活動を開始。8時半といつてもすでに真夏の太陽が照りつける中、汗を拭きながら吸い殻や空き缶を拾っています。JR線路沿いの道は車も多く、互いに声をかけなが



Dブロック4班

会員数
平成22年6月30日
1,727名
男性 1,329名
女性 398名
入会者数
6月 29名
(男23名、女 6名)
但し、退会者12名

らの作業で、集まった「ゴミ袋は15個でした。

西平山班の佐々木房枝さんは「シルバーに入会して3年ほど。仕事もしていますが、クリーン作戦や一斉清掃も毎回出ています。こうした活動は好きです」と気持ちのいい返事が返ってきました。

解散後、4人の班長の話し合いの中で「個々の活動よりもセンター全体で地域貢献をアピールした方がその意味は大きい」と話していました。

当センター新事務局長に
安藤 恒美氏



当センターの池田和宣事務局長(常務理事)は8月3日付で日野市議会事務局長に転出、後任として安藤恒美氏(市職員)が着任しました。

8月23日(月)〜9月5日(日)当センター駐車場が使用できません

中央自動車道の橋梁補修工事に伴う措置です。会員の皆様のご協力をお願いします。

1面のつづき

全地域班一斉清掃

程久保班



程久保班

程久保班は午前7時55分、中程久保橋の動物公園通り側のほとりに集結。野上班長の指揮のもとに整列した後、一同はモノレールを越えて向こう側の歩道に渡り、コンクリート壁沿いに密生した雑草を取り始めました。

は、京王線多摩動物公園駅手前まで進みます。草取り中心が程久保班の特徴です。

万願寺1班



万願寺1班

万願寺1班は女性2名を含む参加者達が次々と10時前に集合し、お互いに交流をはかっています。畠山班長から作業内容の説明を聞いてから、20号バイパスの歩道を東西2手に分かれて、ゴミ集めに向かいました。

などが見つかり、マナーの悪さに驚かされました。

平山城址公園駅周辺の清掃を担当した平山1班から、記事と写真の投稿がありました。写真を次号に掲載する予定です。

今年も登録会員票を更新

平成16年度入会の方対象

昨年夏に初めて登録会員票の更新を実施しました。その趣旨は、入会后5年以上の方の登録データを更新することで、会員の皆様の状況を確認し、円滑な就労案内の一助とするためです。

昨年は平成15年度末までに入会された方が対象でしたが、今年は平成16年度に入会された方が対象。更新手続きは7月26～30日、総務部会が担当しました。

人事往来

事務局臨時職員だった鈴木透氏(程久保班)は7月9日に退職、代わって会員の長堀實氏(三沢班)が7月21日から採用されました。

会員の小森敏氏(百草台班)が6月1日より就業コーディネーターに就任、同コーディネーターであった糸井運平氏(平山2班)が6月30日をもって交代となりました。

理事会二ニュース

第4回理事会 7月30日

審議事項 正会員の入会報告事項 公益法人認定スケジュール、当センター駐車場閉鎖、自転車安全運転講習会、豊田コスモスアベニューの活用、6月事業実績、専門部会の活動報告

「センター行事日程」

8月16日(月) AED講習会
センター会議室
9月3日(金) 就業期限確認書交付式 生活・保健センター

前期地域班会議終わる

平均出席率は30・3%

訃報欄

田部直正(たへなおまさ)さん 程久保班 7月26日死去 72歳。平成18年2月1日入会。(ご遺族が希望された場合のみ掲載。)

配分金の支払日

- 8月20日(金)
- 9月17日(金)
- 10月20日(水)
- 11月19日(金)
- 12月20日(月)
- 1月20日(木)
- 2月18日(金)

女性会員はこんな職場で働いています

女性会員が進出している主な職場は.....

公共の職場

- * 公共施設の受付.....各交流センター、生活・保健センター、福祉センター、公民館等
- * 小学校の事務補助.....各小学校
- * 通学路パトロール.....各小学校

民間の職場(企業、家庭)

- * 企業.....約80社。主な仕事は事務所・施設の清掃、雑役、整理、検品、チラシ配布
- * 家庭.....家事援助、保育補助

独自事業

- 知識、技能、経験等を生かす仕事
- 職群班・職群グループ.....清掃班、手芸班、パソコン班、紙すきグループ
- 教室事業(女性会員が講師を務める).....懐メロ・童謡教室、エッセイ教室、着付け教室、創作紙ねんど人形教室、太極拳教室

地域班長だより

東平山班 長尾 豊彦

私は平成15年、66歳で会社人生を終え、すぐ当センターに入会しました。以来7年、近くの老人ホームの宿直業務と「広報ひの」の配付を続けております。

老人ホームは夜間就業なので当初は苦痛もありましたが、次第に馴れて入居の方々(主に多様な社会奉仕活動に期待

多様な社会奉仕活動に期待

余暇には聖地巡礼や遺跡

に女性)と顔馴染みもでき、見回りのときに笑顔いっぱい挨拶を交わすのが楽しく、この仕事に強い愛着と生きがいを感じています。「広報」配布でも時々届け先の方と顔を合わせると、「いつもご苦労さん」と言ってくれるのが何よりも嬉しくて、この仕事にやりがいを感じています。体力の続く限り仕事は続けて行きたいと

と聞かれます。そこで用意してみました。上記の表です。

当センターではかねてから女性会員を増やそう、女性の比率を高めよう(現在約23%)と叫ばれてきました。しかし、女性に入会を呼びかけると、「ではどんな職場にどんな仕事があるんですか?」

思います。

ボランティア活動は当センターの一斉清掃に極力参加していますが、個人的にも視覚障害者のヘルパーをしています。新公益法人化に伴い、当センターでも今後多様な社会奉仕活動が展開されると期待されていますが、私も自分の個性に合った活動にぜひ参加したいと思っています。

お陰で退屈する間もなさそうでありがたいことだと思っています。

伊藤事業部会長に

市民からお礼の手紙

伊藤幸平事業部会長が植木班として行った仕事に対し、依頼主のカトリック高幡教会の島さんといつ方から、寄附した石や、工事などのお礼の手紙が届きました。12枚の写真も同封されています。手紙の内容と写真はシルバートの平成23年1月号に掲載する予定です。

それってなに?

社会奉仕活動

言葉自体は普通の一般用語。社会貢献のための活動で、無報酬が原則。この種の活動はこれまで、シルバー人材センターでは「ボランティア活動」と呼ばれてきました。新公益法人制度になり、新しい公益社団法人の定款では「社会奉仕活動」がシルバートの目的の一つになりました(第3条)。従来のボランティア活動では「ボランティアの言葉から」自由参加」という解釈も一部にありましたが、本来は会員の義務。新定款ではそうした論議の余地はなくなります。

センター主催の刈払機講習会を実施

講義と実技実習を経て 会員16名に終了証を交付

当センター安全管理委員会主催の刈払機講習会(第2種技能取得)が今年も6月28日、多摩川グランド市営管理棟と北川原公園で実施されました。平成17年から毎年行われ、今年は6回目。今回の参加者は16名、うち12名が初体験者です。

講習内容は刈払機の知識、その仕事や防災、関係法令、および



上野師範の模範実技を見守る受講生たち

実技の7科目。午前9時から午後4時までのフルコース。講師は、林業・木材製造業労働災害防止協会の技能師範、上野徳也氏。

まず午前中は管理棟での室内講義。午後から1時間、公園での実技作業。上野師範の模範実技に続いて、受講生が順次実習しました。この後さらに講義室に戻り、全科終了後、全員に終了証が手渡されました。受講料は8500円ですが、本人負担は4000円。残りはセンター負担。

東京しごとセンターで安全リーダー研修

東京しごと財団(東京都シルバー人材センター＝SC＝連合)主催の安全リーダー研修が7月12日、東京飯田橋の東京しごとセンターで開かれました。安全リーダーとは、各SCの安全担当者のことで、当センターからは渡辺理事と田中理事(ともに安全管理委員)が参加しました。

研修は2部から成り、最初が高齢者の自転車における交通安全・事故防止」と題する講義。第2部はSC都連合の昨年度の事故概況報告でした。



当センター支給の麦わら帽子で草取り作業

熱中症に気を付けましょう

当センターでは昨年来、草取り・草刈り班など炎天下で作業する会員に麦わら帽子を支給しています。また、適時な休憩も必要です。その場合は「熱中症予防のため作業を中断しています」との看板を立てています。

お元気ですか

最近、某公共施設で受付の接遇が悪いと聞きました。

自分は通常の接遇を行っていると思っても、お客様(市民)は不愉快な思いをしたと、感じてしまっている。そんなときは、苦情に對して、まず直ぐに謝ることです。反論したり、注意するよつな言い方をすると、ますますお客様は立腹され、より大きな苦情に結びついてしまうこととなります。

受付の仕事は施設の顔に相当します。私自身も接遇の仕事をしたことがあります。お客様は勝手なことを言うことがあります。そんなときは、まず自分の気持ちを落ち着けて、接遇すべきかと思えます。

「負けて、勝つ」という諺があります。その場は我慢して、お客様に後で反省して頂く時間を与えたと思って、「我慢する」のも方法かなと思います。

注意された時は、すいませんと直ぐに謝るが勝ちで、そして反省すること、これは常日頃、自分自身に對して、言い聞かせていることでもあります。(田村隆道)

市実施の特定健診、生き生き健診は必ず受けましょう

問合せ先：市健康課、保険年金課